



ソフトウェア プロセス エンジニアリング シンポジウム 2009 (SPES2009)

—テーマ:現場に根付く改善の文化—

参加募集

2009年7月16日(木)~17日(金)

<http://www.jisa.or.jp/seminar/spes2009/>

現場による、現場のための
の、シンポジウム



日程:2009年7月16日(木)~17日(金)

会場:日本科学未来館 7F みらい CAN ホールほか [臨海副都心] <http://www.miraikan.jst.go.jp/>

主催:(社)情報サービス産業協会, 後援:経済産業省, (独)情報処理推進機構

開催主旨

ソフトウェアとソリューションの提供における生産性と品質の向上, 納期短縮の要求はますます厳しくなっています。これを実現する中核技術がプロセス改善です。しかし、現場でプロセス改善を実践し、定着させるためには、技術面のみならず、管理面やモチベーションの向上など、様々な課題があります。さらに、ソフトウェアのサービス化など、新たな課題も台頭しています。

本シンポジウムは2003年の創設以来「現場による現場のためのプロセス改善」を柱とし、開発現場に資するプロセス改善の実践事例を中心に発表や討議を行って参りました。また、毎年重点テーマを設定し、テーマに即したチュートリアルやワークショップ、パネルディスカッション等実施しております。

本年は、「現場に根付く改善の文化」をテーマに、プロセス改善を推進する立場と現場開発者との間でプロセス改善文化を共有し、現場を元気にする仕組みや組織に焦点を当てます。今後の方向を示す基調講演とパネル討論, 基礎から学べるチュートリアル, 多くの経験事例, 参加者が一体となって討議できるワークショップ, 情報交換会, など, 充実した内容となっています。情報サービス業の経営者や技術者の皆様にご参加頂き, 交流を深めていただきながら, ソフトウェアとソリューション開発の改善, ビジネス変革の鍵を発見して頂きたいと存じます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

7月16日(木)

10:30	開会宣言・主催者挨拶			太田 幸一(技術委員会 委員長)
10:50 ~11:20	基調講演【情報サービス・ソフトウェア産業政策の新展開~情報システム信頼性向上に向けた取組を中心に~】 安田 篤(経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課長補佐)			
11:20 ~12:30	基調講演【ガラパゴス化現象とITサービス産業の生き残る道】 藤沼 彰久(株式会社野村総合研究所 取締役会長兼社長)			
13:40 ~15:00	経営者向けオープニングパネル【ピンチをチャンスに!今こそプロセス改善!!】 コーディネーター:伏見 諭(株式会社 情報数理研究所) パネリスト:梶本 一夫(パナソニック株式会社), 端山 毅(株式会社 NTT データ), 青山 幹雄(南山大学)			
15:20 15:50 15:55	チュートリアル 【派生開発を成功させる方法 —XDDP の考え方について—】 株式会社システムクリエイツ 清水 吉男	チュートリアル 【~プロセス改善初級~ 「人間重視のソフトウェア・ プロセス改善実践法】 富士通株式会社 関 弘充	事例研究(公募) 【SPEAK モデル活用による プロセス改善の推進 ~モデル整備と教育の視点 から~】 新日鉄ソリューションズ 株式会社 堺 典子	事例研究(公募) 【CMMI レベル 3 達成へ向 けて —組織全体に標準プロセス を定着させる仕組み—】 三菱総研DCS株式会社 森 俊明
16:35			【SPI 全社展開について ~SPEAK IPA 版をベース とした実践事例報告~】 株式会社 日本システム ディベロップメント 金原 洋子	【変化を見逃さないマネジ メント ~プロジェクト危機管理の 施策~】 株式会社 ジューエムエー システムズ 浦田 有佳里
16:45	チュートリアル 【アプリケーション開発の工 業化への取組み ~開発現場における継続し たプロセス改善の実態~】 富士通アプリケーションズ 株式会社 丸山 富子	チュートリアル 【ソフトウェアプロセス「定着 する・しない」の分かれ道 ~CMMIレベル 5 組織の 分析からわかったこと~】 日本電気株式会社 誉田 直美	ワークショップ 【パーソナルソフトウェアプ ロセス(PSP):“測定に基づ くプロセス改善”を個人に浸 透させる一手法】 東洋大学 野中 誠	ワークショップ 【なぜ 3 とカイゼン(人重視 マネジメントの考え方)】 日本電気株式会社 黒岩 雅彦
18:00				
18:10 ~19:45	情報交換パーティ ご挨拶 松田 晃一(独立行政法人情報処理推進機構 ソフトウェア・エンジニアリング・センター 所長)			

7月17日(金)

10:30 ~11:30	招待講演【情報サービス産業の歩みと今後の展望】 小川 健夫(日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 名誉相談役)			
11:40 12:10 12:15	チュートリアル 【10年後のソフトウェア開発プロセス ~「良いソフトウェア開発プロセス」とは何か?~】 株式会社日立製作所 居駒 幹夫	テクニカルセッション 【「事故前提社会」への対応力を高める, ユーザ・ベンダ間での情報共有技術 ~ソフトウェアタグ, タグ利用シナリオ, ツール~】 奈良先端科学技術大学院大学 松本 健一	事例研究(公募) 【「勝つんや活動」のご紹介 ~強く楽しく挑戦する個人と組織づくり~】 NECシステムテクノロジー株式会社 角野 幸子	事例研究(公募) 【「設計ドキュメント入力支援ツール」による設計ドキュメントの標準化と高品質化の実現】 富士通エフ・アイ・ピー株式会社 茂木 一太郎
12:45	事例研究(公募) 【「人間重視のCMMI」導入でインドオフショア開発現場に根付く改善の文化(経験・事例報告)】 富士通株式会社 磯崎 幸穂			
12:45	事例研究(公募) 【企画プロセスと要件定義プロセスの作業の明確化-企画と要件定義、あなたにわかりますか?その違い-】 サントリーフーズ株式会社 塚本 博史			
13:40 ~14:50	招待講演【クラウドコンピューティングの実例と動向】 宇陀 栄次(株式会社セールスフォース・ドットコム 代表取締役社長 (米国セールスフォース・ドットコム 上級副社長 兼任))			
15:10 15:40 15:45	チュートリアル 【工事進行基準-プロジェクトマネジャーの実務】 日本アイ・ビー・エム株式会社 高森 満	テクニカルセッション 【EPM 検証 WG 成果報告 ~プロジェクトデータの自動収集ツールによる、監視プロセス改善活動の取り組み~】 平成 20 年度技術委員会 EPM 検証 WG 委員	事例研究(公募) 【アジャイル開発プロセスの適用による大規模プロジェクトのプロセス改善 ~オフショアと連携したアジャイル開発実践~】 株式会社 日立製作所 山中 敦	事例研究(公募) 【「現場担当者の作業品質」に着目した第三者品質検証】 株式会社富士通 アドバンストクオリティ 中村 信也
16:15	事例研究(公募) 【チケット駆動開発: BTS によるアジャイル開発の改善】 株式会社 NRI ネットワーク コミュニケーションズ 小川 明彦			
16:15	事例研究(公募) 【「トレーニング指向アプローチの適用事例-現場の主体的な改善につながる「EP 自己履行検証活動の仕組みについて」】 株式会社 デンソークリエイト 山路 厚			
16:30 ~18:00	開発現場向けクロージングパネル【プロセス改善のサクセスストーリー】 コーディネーター: 中元 秀明(株式会社野村総合研究所) パネリスト: 金尾 仁(日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社), 八尋 美徳(NEC ソフトウェア九州), 阪本 太志(東芝デジタルメディアエンジニアリング株式会社)			
18:00	表彰・閉会挨拶 富野 壽(部会長)			

※最新のプログラムは <http://www.jisa.or.jp/seminar/spes2009/index.html> をご覧下さい。

申込: 定員 300 名(先着順) 5月中旬より申込を開始いたします。

参加費: 早期割引をご用意しておりますので, お早めにお申し込みください。

参加費	早期割引 価格	一般価格
適用期間	6月末日まで	(7月1日から7月13日まで)
JISA 会員(非会員[傘下会員含む])	20,000 円[25,000 円](お一人)	25,000 円[30,000 円](お一人)

問合せ先: (社)情報サービス産業協会 SPES2009 事務局(鈴木/大原) 03-5500-2610, spes2009@jisa.or.jp